



泊小学校だより ～潮風の中でたくましく～

令和3年12月24日

第11号 校長 栗原 歳盛

ひとりひとり成長した充実の2学期

2学期が終わります。長い2学期でしたが、たくさんの学習、たくさんの活動を通して一人一人ぐんぐんと成長したと思います。

2学期も、保護者の皆様には大変お世話になりました。中でも家庭学習がんばり週間では、家庭での学習をしっかり応援いただきありがたく思っています。

たくさんのご協力をいただいた2学期でした。ありがとうございました。

自分なりの課題を見つけて取り組んだ12月になったかな

全校朝会で「12月は大きな行事がありません。毎日の生活で続けて頑張ることをみつけて取り組んでほしいです。あいさつも、あったか言葉にもゴールの日はないね。自分の課題をみつけて取り組む12月にしよう」と話しました。

あいさつ、言葉遣い、自分の仕事（委員会、当番）、学習の集中、発表、いいこと見つけなどなど毎日続けて頑張れることに取り組むよう頑張ったと感じています。

毎朝、公民館の階段の下であいさつをしています。自分からあいさつしてほしいと願い、児童からあいさつするのを少し待ってあいさつを返してみました。先に進んであいさつする子はとても多いです。明るく元気に進んであいさつする子めざしてさらに声掛けを続けます。家庭でもたくさんあいさつをしていくといいですね。

地域とつながる学習、体験学習

地域と協力した学習は12月もたくさん行いました。防災学習（1年から6年）、わかめの植え付け（3年）、貝がら節の学習（3年）、座禅体験学習（6年、）つわぶき荘へのプレゼント交流（4年）、昔ばなしの語り（2年）など



毎年来ていただいている昔ばなしの語りでは、泊と関係のある3つの昔ばなしを聞かせていただきました。「甲亀山」等のお話では迫真の語り口で引き込まれ、楽しいひと時でした。本の紹介もあり「昔話をもっと読みたい」と読書意欲が出たようです。

3学期には地域の方の「朝の読み聞かせ」も始めていきたいと考えています。

地域の方の泊小学校へのエール

地域の方から電話をいただきました。「自分は泊校区に住んでいる。年は七十代になりました。泊小学校の卒業生です。今頃は泊の後継者も少なくなり、泊小学校の子どもたちも少なくなりましたね。応援していますので、頑張ってください。」という電話でした。あちこちに泊小学校の応援団がいることが伝わりとても元気が出ました。この感謝の気持ちは、明るいきずけな泊小の子どもたちを育てていくことでお返ししていかなくては、と心新たにになりました。

地域の皆様に感謝、感謝です。

冬休みに入ります。まず、健康、安全に気をつけてくらししてほしいです。また、新年には、新しい年の新しい目標を作してほしいです。目標は自分を向上させてくれます。